

レスピマツト：各部位の名称



薬の準備①

- キャップを閉じた状態で、安全止めを押しながら、透明ケースをはずします。



薬の準備②

- カートリッジを吸入用器具レスピマツトにまっすぐ挿入します。



薬の準備③

- カートリッジを奥まで挿入します。



薬の準備④

- 透明ケースを装着します。



薬の準備⑤

- キャップを閉じた状態で上向きにし、透明ケースをカチッと音がするまで右に180度回転させます。



薬の準備⑥

- キャップを完全に開けます。



薬の準備⑦

- 下に向け噴霧ボタンを押し、吸入準備をします。

薬の準備⑧

- ミスト（霧）が見えるのを確認したらキャップを閉じ、⑤～⑦の操作をさらに3回繰り返し、噴霧が確実に行われることを確認します。
- これで吸入可能になります。

レスピマット（薬品名：スピリーバ、スピオルト）



1.薬の準備①

- ・目盛りで残量を確認します
- ・キャップを閉じた状態で縦にして持ち、透明ケースをカチッと音がするまで右に180度回転させます

・回転が困難な患者にはメーカー資材の回転補助器具(回転くん)を検討します。



1.薬の準備②

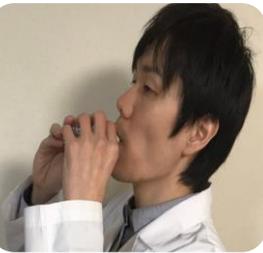
- ・キャップを完全に開けます



2.息吐き

- ・無理をしない程度に「フーッ」と十分に息を吐き出します。
- ※吸入口には息を吹きかけないでください。

・息吐きを行わないと、吸入が十分にできません。



3.吸入

- ・吸入口をくわえ、噴霧ボタンを押すと同時に、2秒以上かけてゆっくり吸い込みます

・吸い方が早すぎると肺への薬剤の到達度が減少します。

・吸入口のくわえすぎや、指で通気孔を塞がないように注意してください。

・喉に対してまっすぐに吸います。

・噴霧時間は約1.5秒継続します。

・あごを少し上向きにすると、舌が自然に下がり、喉が開いた状態を作りやすくなります。



4.息止め

- ・吸入口から口を離し、苦しくない程度（5秒程）息を止めます。

・薬剤を気管支から肺まで効率よく吸収させる（肺内沈着率を上げる）ために、息止めが必要です。

・息止めが難しい患者でも、意識して一瞬でも息をこらえることが重要です



5.息吐き

- ・ゆっくりと息を吐き出してください。

※もう1回吸入する場合は1～5の手順を繰り返します
※吸入口に息を吹きかけないでください。



6.後片付け

- ・使用後はキャップをします

・キャップをする前に、吸入口をティッシュなどで拭くことで清潔に保てます。



7.うがい

- ・のどと口の中に薬剤が残らないように、口ゆすぎと、ガラガラのうがいを3回程度行ってください。

・必要な薬は吸入した時点で浸透しているのので、すぐにうがいをして問題ありません。

・うがいをきちんと行うことによって、吸入ステロイドによる、口腔内カンジダや嚙声などの副作用の発現を防止します。

Q&A：よくあるお問合せ

Q：1日1回の吸入ですが、吸入に適した時間帯はありますか？

A：用法・用量上の時間帯の規定はなく、患者さんの生活にあった時間帯での吸入が可能です。歯磨きと一緒にするなど、毎日の習慣に取り入れるように工夫されているケースもございます。生活の一部として組み込むことで、吸入のし忘れを防ぐことが期待できます。

Q：透明ケースを180度回転できないまま、途中で戻してしまいました。何か影響はありますか？

A：デバイスを継続して使用することへの影響はありません。ただし、微量の薬液が噴霧されるため、繰り返すとカウンターは減らなくても薬液は減っていきます。そのため、レスピマットを吸入する際には、キャップを閉めた状態で、180度「カチッと音がするまで」しっかり回しきることが大切です。

Q：吸入の際にむせてしまいます。どうすれば良いですか？

A：レスピマットは、吸入液をゆっくり噴霧する吸入器です。勢いよく吸い込むとむせてしまうことがありますので、ご自身の呼吸に合わせてゆっくりと吸入してください。